

I 新松田駅周辺地域基本構想

1. 新松田駅周辺地域の位置づけ

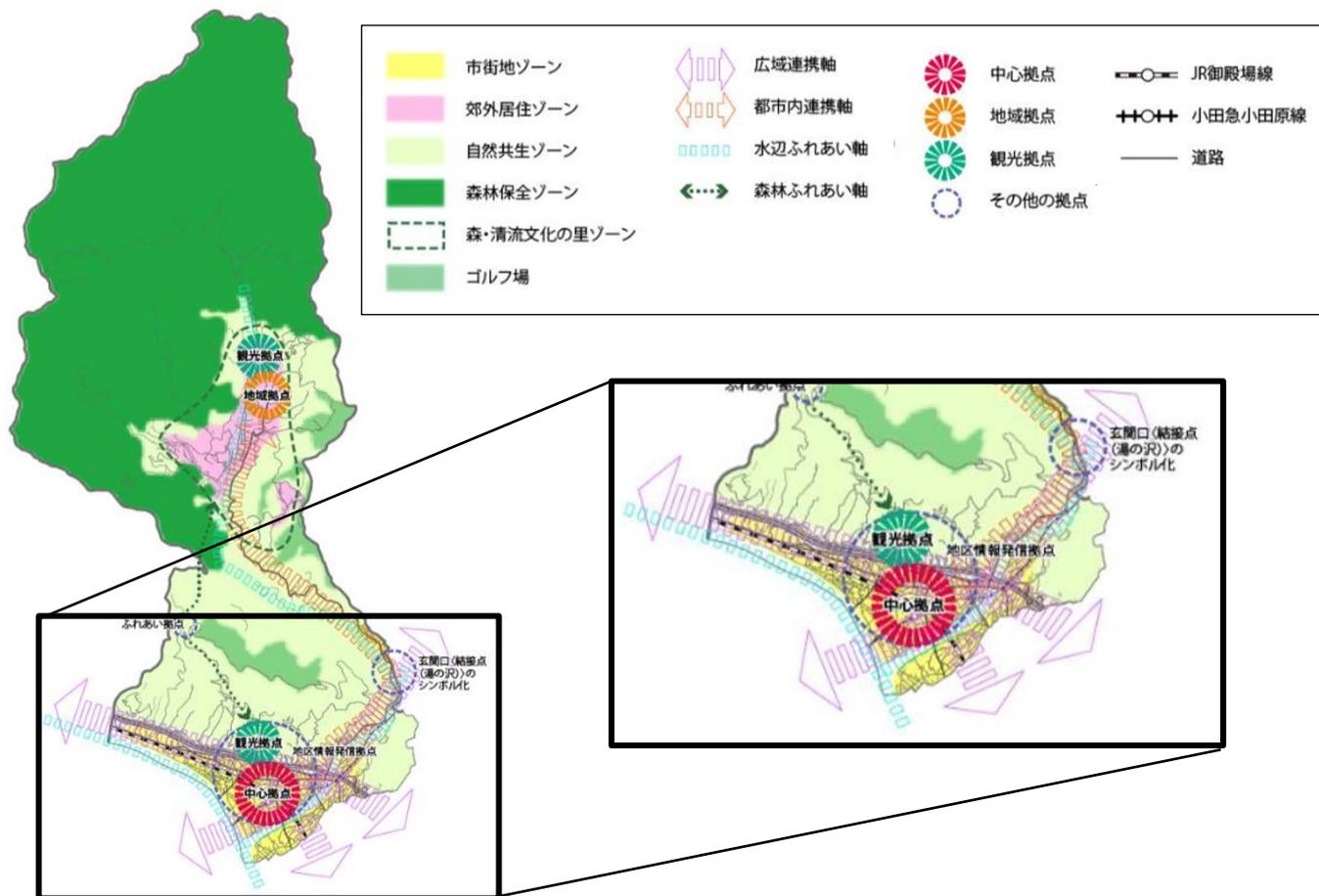
(1) 上位計画における位置づけ

- ・上位計画における新松田駅周辺地域の位置づけは次のとおりです。

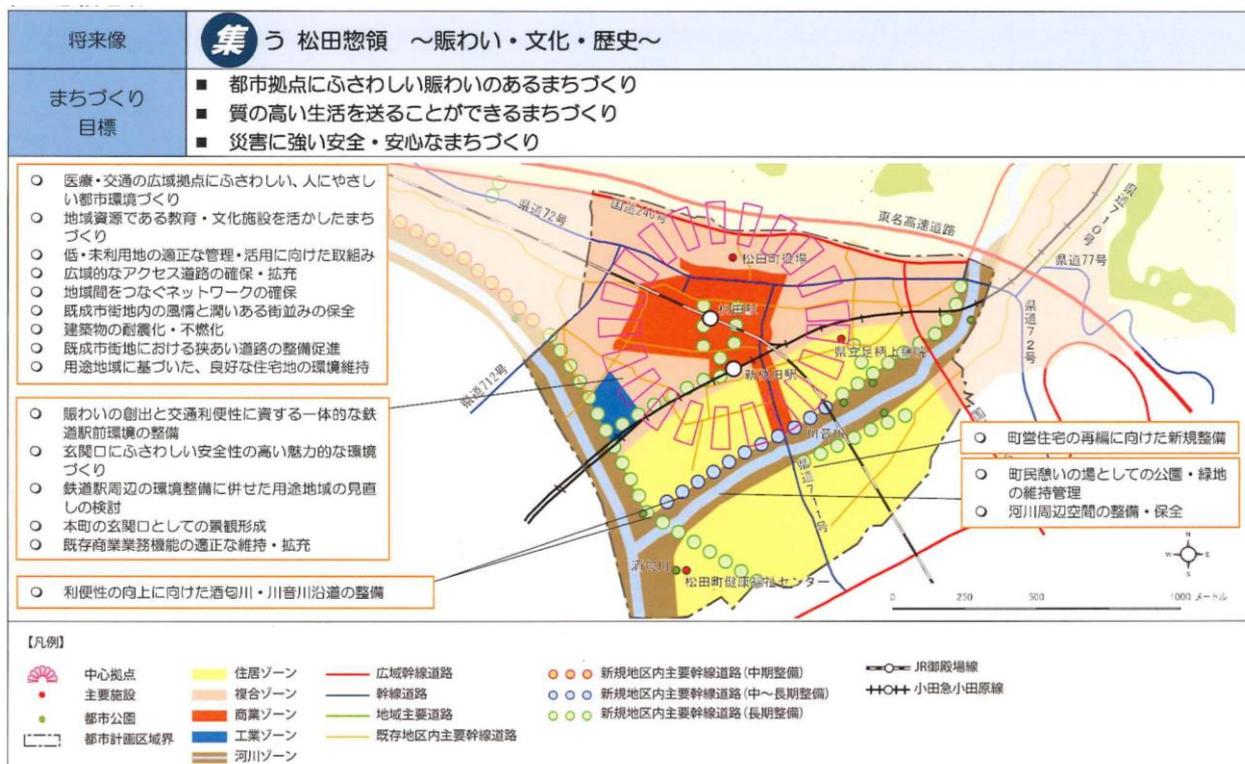
<上位計画における新松田駅周辺地域の位置づけ>

<p>◆地区の役割・機能・将来像等</p> <p>➢町や広域（足柄上地区）の玄関口となる交通結節点、こうした立地特性を活かした地域住民や町民、さらには来街者の活動を支える中心拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市機能・・・広域生活拠点、地域拠点、生活活動拠点、中心市街地、中心拠点 ・交通機能・・・交通結節点、玄関口 ・その他機能・・・医療の広域拠点、地区情報発信拠点 ・サービス圏域・・・松田町、広域（足柄上郡等）
<p>◆土地利用に係る事項</p> <p>➢商業地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購買需要の多様化に対応できる商業・業務機能の集積 <p>➢住宅地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅や商業地に近接する利便性を活かした都市型住宅地の形成 <p>➢土地の利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の更新や共同化等にあわせた土地の高度利用 ・定住促進を目的とした、低未利用地（空家・空店舗・空地等）の適正な管理・活用
<p>◆基盤施設整備に係る事項</p> <p>➢駅前広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新松田駅北口駅前広場及び南口駅前広場の整備 <p>➢アクセス道路等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス道路となる新松田駅前通り線及び新松田駅南口線の整備 ・周辺の市街化の動向を勘案した駅周辺道路の計画の具体化 <p>➢その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街区公園、オープンスペース等の確保
<p>◆都市環境・景観その他に係る事項</p> <p>➢都市環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来訪者・観光客が回遊・滞在しやすい街なか環境の整備や楽しく歩けるまちづくり ・町や地域などの様々な情報を受発信できる場（地区情報発信拠点）としての整備 ・鉄道駅周辺における交通の“シームレス化(*)” ・医療・交通の広域拠点にふさわしい、人にやさしい都市環境づくり <p>➢都市景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄関口にふさわしい文化・風格・賑わい・うるおいが感じられる個性豊かな景観形成 <p>➢都市防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築物の不燃化や耐震性の強化

■新松田駅周辺地域の空間形成の方向（松田町第6次総合計画（策定中）より）



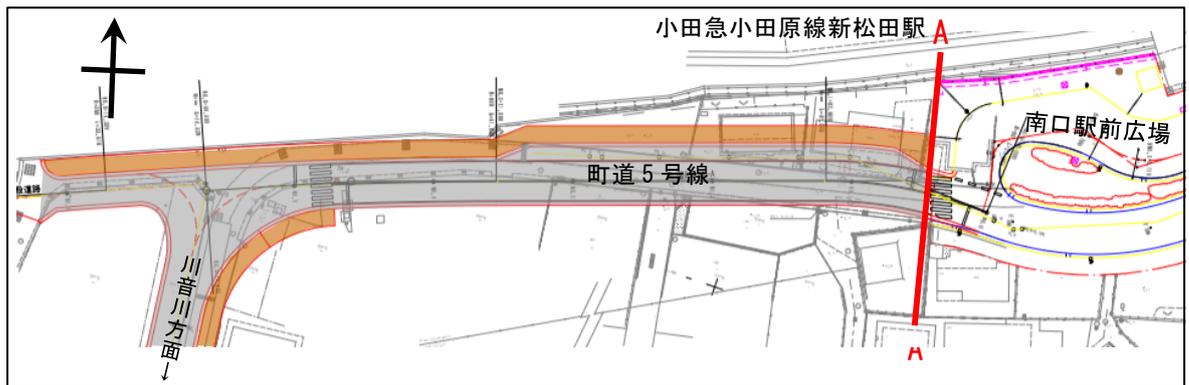
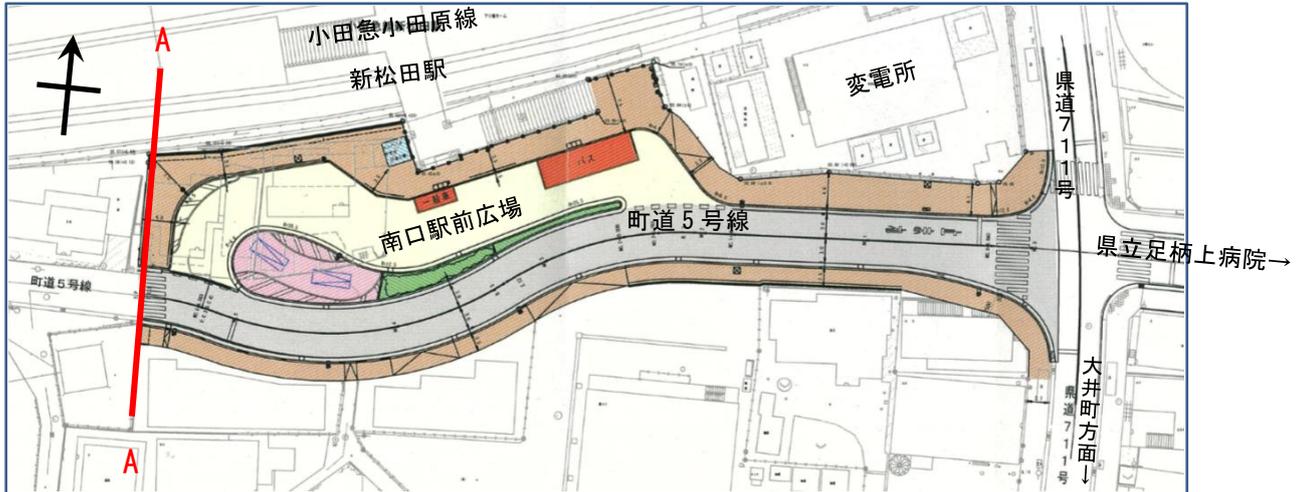
■新松田駅周辺地域の将来構想（松田町都市計画マスタープラン（平成29年3月）より）



(2) 関連計画

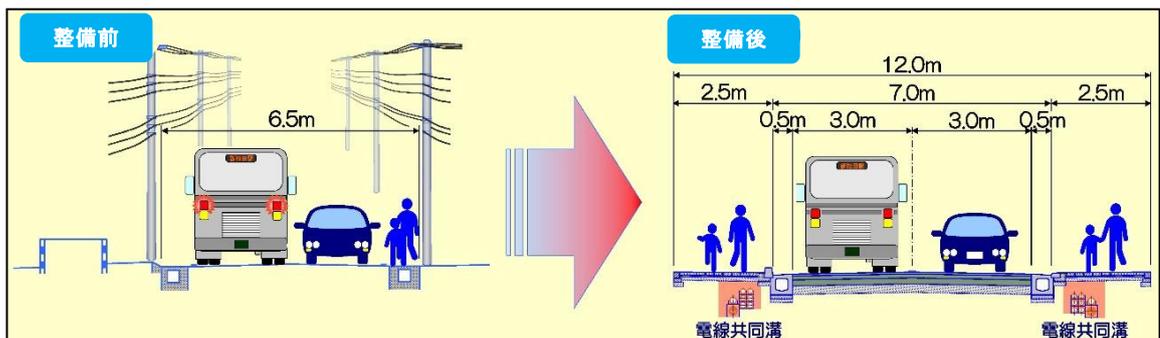
① 新松田駅南口駅前広場整備事業（町道5号線 道路整備事業）

- 平成13年度より新松田駅南口駅前広場の整備に向け、関係機関や事業者との協議・合意形成、関係住民との協議等を経て、現在、南口駅前広場として一部が整備され、供用されています。



② 県道711号（小田原松田）歩道整備事業

- 県道711号の道路拡幅・歩道設置事業として整備が進められ、新松田駅前のJRガード北側から県道72号までの区間について歩道設置が完了し、電線地中化の整備を行っています。



2. 新松田駅周辺地域の実態と課題

(1) 新松田駅周辺地域の現状・問題点と課題

- ・新松田駅周辺地域における交通環境及び市街地環境の現状・問題点と問題点解消のための課題を整理すると次のとおりです。

① 新松田駅北口から松田駅南口周辺の現状・問題点と課題

<交通環境に係る課題>

現状・問題点		課題
<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場が、各種の駅目的交通（バス、タクシー、一般車、歩行者等）の円滑な処理に対応した規模を有していない。 ・駅前広場内では、各種交通を円滑に処理する乗降場等の配置や動線の確保が十分になされていない。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ●交通結節点としての十分な機能（規模・施設配置・動線）が確保された駅前広場の整備
<ul style="list-style-type: none"> ・県道711号の御殿場線高架下の狭あい部分、小田急線の踏切、未整備な町道3号線と県道との交差等のネック地点が連続して存在し、駅前で交通混雑が発生している。 ・鉄道による南北市街地の分断や道路網の未整備により、駅前に通過交通が流入し、各種交通が錯綜している。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ●交通の円滑化を図る周辺道路網の拡充整備
<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺における各種交通の錯綜や歩行者動線の未整備により歩行者交通の移動に対する利便性が阻害されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●歩行者の円滑な移動環境を有した通行空間の整備
<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の道路網や駅前広場における歩行空間が未整備である。 		<ul style="list-style-type: none"> ●歩行者の安全な移動環境を有した通行空間の整備 ●歩行者の安全性の確保に資する周辺道路網の拡充整備

＜市街地環境に係る課題＞

現状・問題点	課題
<ul style="list-style-type: none"> 近隣住民に対する生活支援サービス機能（商業機能、公共公益機能等）や駅利用者の利便を高めるサービス機能（交流機能、観光機能、情報発信機能等）が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●近隣住民や駅利用者の利便性を高める各種サービス機能の育成・強化
<ul style="list-style-type: none"> 空地や空家・空テナントが散見されるなど、商業地域としてのポテンシャルが未活用である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域経済の活性化に配慮した土地の高度・有効利用の推進
<ul style="list-style-type: none"> 近隣住民や駅利用者にとって快適性が感じられるゆとりやうるおいのある空間・環境が不足している。 （既成市街地での建物の密集化、道路や公園・広場等の公的なオープンスペースの不足、植栽地や街路樹などの緑化空間が未整備） 駅舎や駅前広場・道路等の公的な空間において、バリアフリー化（*）等の未対応箇所が存在する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●来訪者に優しい快適環境の創出
<ul style="list-style-type: none"> 松田町や足柄上地域の玄関口として空間・環境を特徴づける良好な街並み景観を有しておらず、また、個性に乏しく、魅力がない。 建築物や道路等の公的な空間において、老朽化が進み、また、その更新も遅れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●個性的で魅力ある“らしさ”の創出

② 新松田駅南口周辺の現状・問題点と課題

<交通環境に係る課題>

現状・問題点		課題
<ul style="list-style-type: none"> 現在の駅前広場は暫定供用であり、北口駅前広場との車両の機能分担が十分に図れていない。 		<ul style="list-style-type: none"> 交通結節点としての十分な機能（規模・施設配置・動線）が確保された駅前広場の整備
<ul style="list-style-type: none"> 小田急線の踏切や北口の広場に流入するバスの影響により、県道711号線での交通渋滞が発生し、駅前広場へのアクセスが阻害されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 交通の円滑化を図る周辺道路網の拡充整備

<市街地環境に係る課題>

現状・問題点		課題
<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場周辺に店舗がなく、駅利用者にとっては、鉄道の乗降場所としての役割を果たしているのみである。 		<ul style="list-style-type: none"> 近隣住民や駅利用者の利便性を高める各種サービス機能の育成・強化
<ul style="list-style-type: none"> 駅前に住居系用途地域が指定されているなど、土地の高度・有効利用を阻害する要因も見受けられる。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域経済の活性化に配慮した土地の高度・有効利用の推進
<ul style="list-style-type: none"> 植栽地や街路樹などの緑化空間が未整備である。 駅舎や駅前広場・道路等の公的な空間において、バリアフリー化(*)等の未対応箇所が存在する。 		<ul style="list-style-type: none"> 来訪者に優しい快適環境の創出
<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場周辺に変電所等が立地し、玄関口として空間・環境を特徴づける良好な街並み景観を有しておらず、また、個性に乏しく、魅力がない。 		<ul style="list-style-type: none"> 個性的で魅力ある“らしさ”の創出

③ 松田駅北口周辺の現状・問題点と課題

＜市街地環境に係る課題＞

現状・問題点	課題
<ul style="list-style-type: none"> 近隣住民の暮らしを支える生活拠点としての役割を十分に果たしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣住民や駅利用者の利便性を高める各種サービス機能の育成・強化
<ul style="list-style-type: none"> 駅前商店街に活気や賑わいが感じられないなど、消費活動が活発でない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域経済の活性化に配慮した土地の高度・有効利用の推進
<ul style="list-style-type: none"> 近隣住民や駅利用者にとって快適性が感じられるゆとりやうるおいのある空間・環境が不足している。 駅舎や駅前広場・道路等の公的な空間において、バリアフリー化(*)等の未対応箇所が存在する。 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者に優しい快適環境の創出
<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場に隣接して市営駐車場が存在しているがあまり活用されておらず、また、玄関口として空間・環境を特徴づける良好な街並み景観を有しておらず、個性に乏しく、魅力がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 個性的で魅力ある“らしさ”の創出

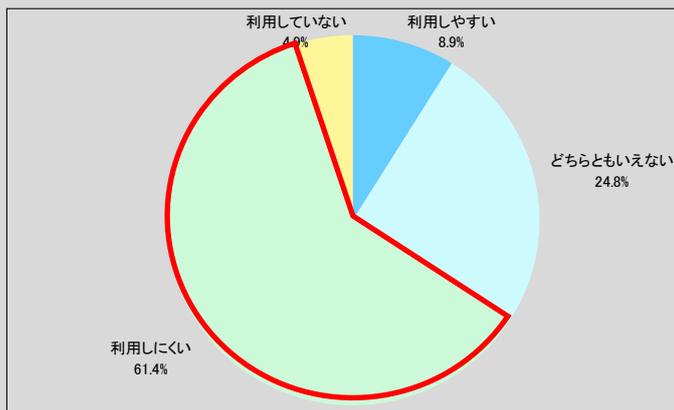
(2) 新松田駅周辺地区の状況と課題

- ・線新松田駅の乗降客数は約24,000人/日、松田駅の乗降客数は約6,600人/日です。
- ・基本構想の策定にあたり、新松田駅周辺の交通実態を把握するために実施した交通量調査（車両・歩行者・自転車）、駅利用者アンケート調査から、新松田駅周辺地区の状況と問題点、課題は次のように整理されます。

<新松田駅周辺地区の状況>

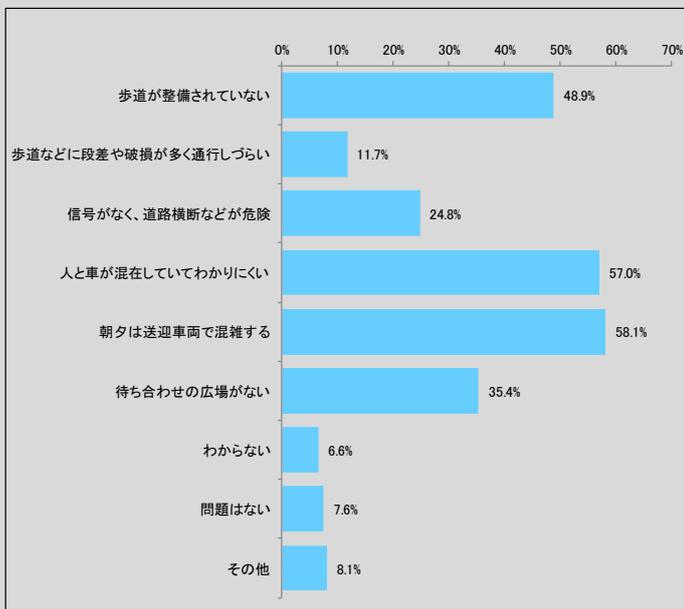
〔駅前広場やその周辺の歩道について〕

- 駅を利用する6割以上が利用しにくいと感じており、まとまった広場空間が少ないことが考えられる。



〔駅前広場やその周辺の環境について〕

- 歩道空間が少なく、広場空間も十分な面積が確保されていないため、ピーク時には送迎車両と歩行者との錯綜により安全性が確保されていない。



<新松田駅周辺地区の問題点>

〔駅前安全性〕

- ▶ 車両と歩行者・自転車が錯綜し危険である
- ▶ 2つの駅間の移動が道路横断となり危険である

〔駅前の利便性〕

- ▶ 駅前広場が各種交通の結節点としての機能を果たしていない
- ▶ 駅前における円滑な車両通行が確保されていない
- ▶ 駅周辺の移動（2つの駅間の移動、鉄道・バスの乗り換えなど）が不便である
- ▶ 待ち合わせやバス待ち等の滞留場所がない

〔生活拠点・都市拠点〕

- ▶ 駅前が乗り換え等交通機能に特化し拠点として機能していない
- ▶ ゆとりや潤いのある空間・景観が不足し快適性がない
- ▶ 高齢者等の交通弱者の快適な移動が阻害されている
- ▶ 地域の玄関口としての魅力が不足している



新松田駅北口駅前広場の状況



新松田駅北口からロマンス通り方向



新松田駅南口 駅前広場



JR 松田駅 北口広場



県道 711 号 JR ガード部



<新松田駅周辺地区の課題>

- 横断歩道による駅間移動や車両と歩行者・自転車が錯綜するなど、駅利用者の安全性の向上が課題となっている。
- 県西地域北部の地域拠点、交通結節拠点であり、かつ町の中心であるため、駅周辺の交通結節機能の向上が課題となっている。
- 町の玄関口として、鉄道駅を中心とした末端交通手段（バス、タクシー、自家用車）の安全で利便性の高い交通接続機能向上に加え、玄関口として来街者にも利用しやすい環境確保のため、案内情報機能や待合環境等のソフト的機能向上が課題である。
- 交通ターミナルとして鉄道間の乗り継ぎやバスへの乗り継ぎ利用者が多く、昼間の交流人口も少ないことから、地域の活性化に向けて、潜在的需要をまちなかに誘導することが課題となっている。

(3) 新松田駅周辺地区のまちづくりの基本的課題

- ・新松田駅周辺地域の現状と課題及び新松田駅周辺地区の課題を踏まえ、新松田駅周辺地区におけるまちづくりの基本的課題は、以下の5つの課題に集約されます。

<新松田駅周辺地域の現状課題>

交通環境に係る課題	1	●交通結節点としての十分な機能（規模・施設配置・動線）が確保された駅前広場の整備
	2	●交通の円滑化を図る周辺道路網の拡充整備
	3	●歩行者の円滑な移動環境を有した通行空間の整備
	4	●歩行者の安全性の確保に資する周辺道路網の拡充整備
市街地環境に係る課題	5	●近隣住民や駅利用者の利便性を高める各種サービス機能の育成・強化
	6	●地域経済の活性化に配慮した土地の高度・有効利用の推進
	7	●来訪者に優しい快適環境の創出
	8	●個性的で魅力ある“らしさ”の創出

【まちづくりの基本的課題】

駅前広場内の施設(交通機能、環境機能、防災機能)の適正規模の再配置 [現状課題:1・A・B]

便利で魅力的な中心市街地としての商業・業務機能の集積 [現状課題:6・D]

アクセス道路における円滑で安全な交通処理 [現状課題:2・4]

商店街や歴史的資源、魅力的な街並みを活かし楽しく歩けるまちづくり [課題:3・7・8・D]

<新松田駅周辺地区の現状課題>

A	●交通結節機能の整備
B	●鉄道駅を中心とした安全で利便性の高い交通接続機能の向上
C	●案内情報機能や待合環境等のソフト的機能の向上
D	●潜在的需要のまちなか誘導による地域の活性化

松田町の玄関口としての情報発信機能の充実 [現状課題:5・C]

3. 新松田駅周辺地域基本構想

(1) まちづくりの将来像

- ・新松田駅周辺地域におけるまちづくりが目指す将来像は、当該地域の位置づけである“足柄上地区の玄関口”という立地ポテンシャルを活かしたまちづくりにより、“賑わい”と“活力”を創出していくことを表明するものとして、以下のように設定します。

<新松田駅周辺地域の将来像>

～足柄上地区の玄関口 賑わい・活力を生み出すまちづくり～

(2) 地域の基本的構造

- ・新松田駅周辺地域では、先に掲げたまちづくり将来像『～足柄上地区の玄関口 賑わい・活力を生み出すまちづくり～』を戦略的かつ先導的に実現するため、次に示す考えに基づき地域の基本的な構造形成に取り組むものとします。

<地域の基本的な構造形成に取り組むための考え方>

> “足柄上地区の玄関口”の実現に向けて

●交通拠点

- ・新松田駅北口、松田駅南口：町内・観光エリアへの玄関口としての機能
- ・新松田駅南口：町内・大井方面への玄関口としての機能
- ・松田駅北口：新松田駅を補完する町内への玄関口としての機能

> “賑わい・活力を生み出すまちづくり”の実現に向けて

●まちづくり拠点

- ・新松田駅周辺：町や地域などの様々な情報を受発信する拠点
- ・町役場・町民文化センター：交流拠点としての町民文化センターの利活用
- ・県土木事務所跡地：女性活躍の拠点（定住対策）としての跡地の活用
- ・県立足柄上病院：医療の広域拠点

●都市機能拠点

- ・新松田駅周辺：都市・生活活動を支える都市機能（居住・就業・商業サービス・公共公益サービス）が集積した拠点

●まちづくり軸

- ・県道711号沿道：まちづくり拠点を連携・ネットワークする軸

●まちづくり回遊ネットワーク

- ・街なかの回遊動線：楽しく歩けるまちづくり（特徴的な店舗や歴史的資源などの連携・回遊）

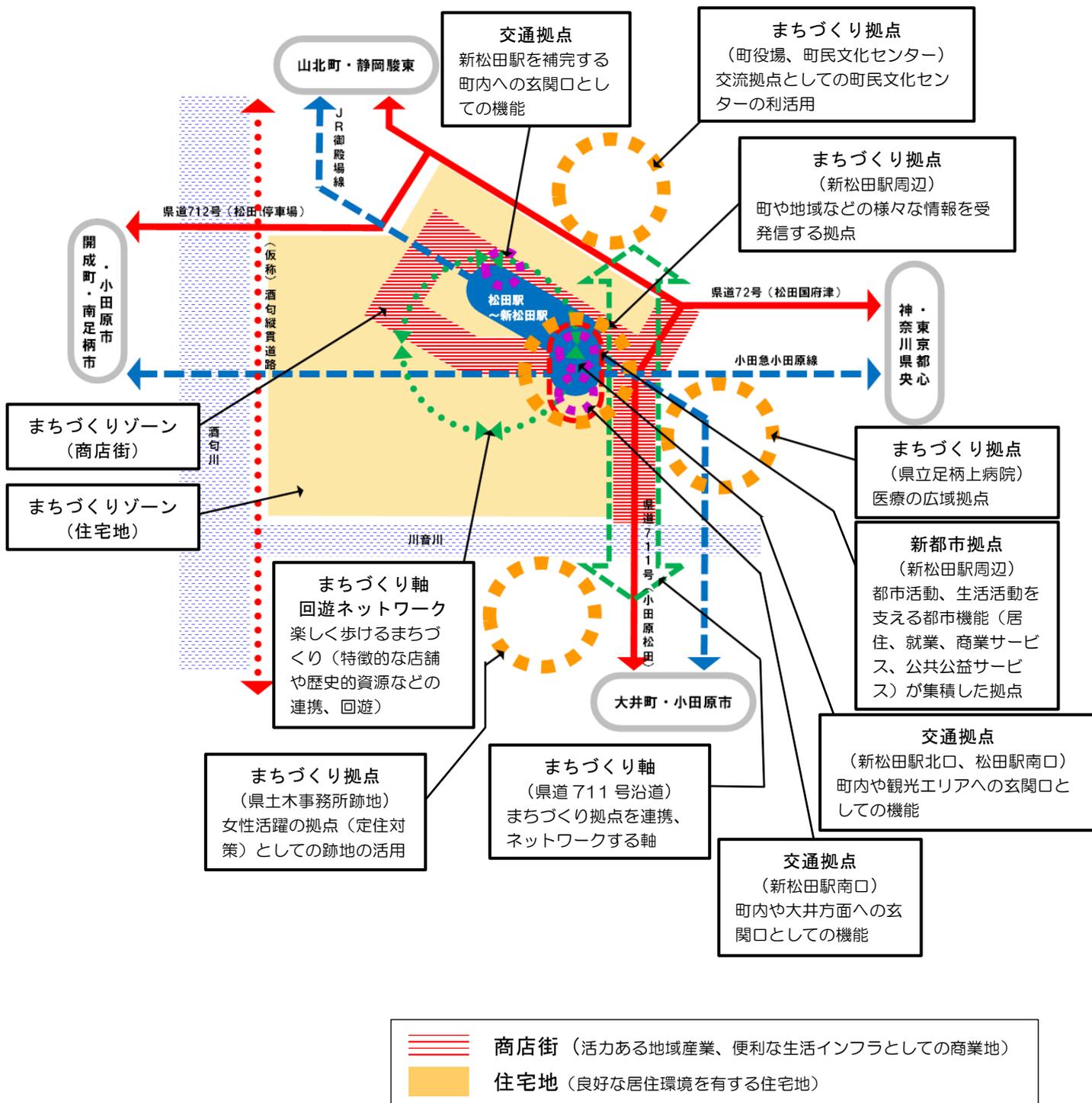
●まちづくりゾーン

- ・商店街：活力ある地域産業・便利な生活インフラとしての商業地
- ・住宅地：良好な居住環境を有する住宅地

●まちなかふれあいゾーン

- ：楽しく歩けるまちづくり（特徴的な店舗や歴史的資源などの連携・回遊）

■ 地域の基本的構造



(3) まちづくりの基本方針

- 松田町では、これまで、まちづくり戦略に取り組んできましたが、社会情勢は大きく変動しており、気候変動、自然災害といった地球規模の課題もグローバルに連鎖して発生し、経済成長や社会問題にも波及して深刻な影響を及ぼす時代になってきています。
- このような状況を踏まえ、2015年9月に国連で採択された、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において、「持続可能で強靱、そして誰一人取り残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す」ことをビジョンに据え、わが国においても持続可能な開発目標（SDGs）に関する取組みを推進しています。
- 松田町の人口は1995年を境に減少しており、少子高齢化や町の産業・活力の低下が逼迫した課題となっています。将来人口推計において、2040年には7,364人まで減少することが予想されている中、本町においても、持続可能でより強靱な取組み、選択と集中による効率的な行政運営、効果的なまちづくりが求められており、多様な地域資源や町民の力を活かしながら、魅力を高めることで町の活力につなげるとともに、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けたまちづくりを進めます。
- 本基本構想・基本計画の「基本方針」及び「基本構想」の各項目においても、関連する持続可能な開発目標（SDGs）を設定しています。

参考) 世界レベルで目指す持続可能な開発目標（SDGs）17のゴール

開発目標	開発目標
 ①あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	 ⑩国内および国家間の不平等を是正する
 ②飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する	 ⑪都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする
 ③あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	 ⑫持続可能な消費と生産のパターンを確保する
 ④すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	 ⑬気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
 ⑤ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメント（自律的に行動する力の醸成）を図る	 ⑭海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
 ⑥すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する	 ⑮陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
 ⑦すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	 ⑯持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
 ⑧すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（適切な雇用）を推進する	 ⑰持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
 ⑨レジリエント（強靱）なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る	

- ・新松田駅周辺地域におけるまちづくり将来像『～足柄上地区の玄関口 賑わい・活力を生み出すまちづくり～』と先に掲げたまちづくりで解消すべき5つの基本的課題を踏まえ、地域の基本的構造形成を目指したまちづくりの基本方針を次のとおり設定します。



<まちづくりの基本方針>

>まちづくり将来像 ～足柄上地区の玄関口 賑わい・活力を生み出すまちづくり～	
>まちづくりの 基本的課題	>まちづくりの基本方針
アクセス道路における 円滑で安全な交通処理	安全・安心なまちの形成 : 住民・来訪者が安全・安心に行き交うことができ暮らせるま ちの形成
駅前広場内の施設（交 通機能、環境機能、防 災機能）の適正規模の 再配置	交流・活力を促進する交通拠点の形成 : 足柄上地区の玄関口にふさわしい交通拠点の形成
便利で魅力的な中心市 街地としての商業・業 務機能の集積	魅力・賑わいの創出 : 交流・活力の拠点として機能する駅周辺での魅力・賑わいの創出
商店街や歴史的資源、 魅力的な街並みを活か し楽しく歩けるまちづ くり	環境・景観に配慮し地域資源を活かしたまちづくり : 豊かな自然環境・景観・地域資源を活かした基盤形成
足柄上地区の玄関口と しての情報発信機能の 充実	IT（*）の高度化に対応した施策の展開 : 情報技術の高度化に対応した利便性の高いまちづくり

(4) 新松田駅周辺地域基本構想

- ・新松田駅周辺地域におけるまちづくりの基本方針ごとに、将来像の実現に向けた地域の基本構想を整理します。

① 安全・安心なまちの形成



1) 地域の基本的な構造形成に向けた適正な土地利用誘導

- ・新松田駅周辺地域は、足柄上地区の玄関口である新松田駅及び松田駅の2つの鉄道駅を有するポテンシャルの高い地域である。しかし、駅周辺においては、商業系の用途地域が指定されているにもかかわらず住宅が点在し、特に商業地域に指定されている駅前周辺の地域では、指定容積率が400%に対し平屋建てや2階建ての建物が多く、高度利用が図られていない状況にあります。
- ・また、新松田駅南口駅前や松田駅の南側は第一種住居地域に指定されており、準防火地域に指定されていないなど、商業や業務施設の立地や防災性の高い建物を誘導しにくい状況となっています。
- ・そのため、地域の基本的な構造形成に向けて、新松田駅北口、松田駅南口周辺の駅前地区を「中心商業地区」、沿道商店街を形成する県道711号沿いやロマンス通り沿いの地区を「沿道商業地区」、商店街を含む住宅地区を「複合住宅地区」、その他の地区を「住宅地区」と位置づけ、用途地域や準防火地域の見直しを行うなどにより、土地利用誘導の適正化を図ります。

2) 歩行者の安全性の確保

- ・幹線道路においては歩道が整備されていますが、市街地内の町道においては、市街地内の車両ネットワークが脆弱であり、また、歩車道の分離が図られていない道路も多く、安全安心なまちの形成に向けて、歩行者の安全性の確保は喫緊の課題です。
- ・そのため、県道72号、711号、712号を地域の骨格道路として幹線道路（町道3・5・6号線）により道路網を形成し、地域内の円滑な交通を確保するとともに、新たに地域の南北を結ぶ連絡道を整備し、歩行者と車両の錯綜を緩和します。

3) ユニバーサルデザインに配慮した空間形成・発信情報の整備

- ・駅舎や公共建築物においては、バリアフリー等の整備が進められていますが、道路等の公共施設や店舗など民間の施設においてはあまり進んでおらず、だれもが安心して外出できる状況には至っていません。
- ・今後、超高齢化社会を迎えるにあたり、だれもが安心して暮らし外出できるまちを目指し、ユニバーサルデザイン(*)に配慮した空間形成を推進するとともに、まちなかサイン等の発信情報の整備を推進します。



② 交流活力を促進する交通拠点の形成

- ・新松田駅北口及び松田駅南口は、町内・観光エリアへの玄関口としてだけでなく、足柄上地区、さらには県西地域の公共交通のネットワーク拠点として機能しており、松田駅北口は新松田駅北口と松田駅南口を補完する玄関口としての役割を果たしているが、交

通結節点としての十分な機能（規模・施設・配置・動線）確保が脆弱なため、交通拠点の形成に向けた整備が喫緊の課題となっております。

- そのため、新松田駅北口及び松田駅南口は町内商店街や富士山をはじめとする観光エリアへの玄関口として、新松田駅南口は町内にある広域医療施設や大井町、小田原方面への公共交通による玄関口として機能する「交通拠点」として、また、駅から徒歩圏にある2つの町営住宅用地と連携した環境整備を推進します。
- 松田駅北口は新松田駅北口及び松田駅南口周辺の整備計画を進めながら、町営駐車場の利活用などを含め、今後計画を策定し、公共交通のネットワーク拠点としての機能を補完することや、地域の賑わいなどが創出される環境整備を推進します。

③ 魅力賑わいの創出



- 新松田駅北口、松田駅南口は、1日約24,000人が乗降する新松田駅と1日約6,600人が乗降する松田駅が交わる地区でありながら、滞留及び交流スペースや町民や駅利用の来訪者へのサービス機能に乏しく、駅間の乗り換え時を除き、賑わいが少ない状況となっております。
- そのため、新松田駅北口、松田駅南口周辺地区は足柄上地区のみならず多くの来訪者が利用する、公共交通の結節点としての立地特性を活かした、商業等の中枢的な都市機能が立地する賑わい活動の中心となる拠点として土地利用の更新を図ります。また新松田駅南口は駅周辺整備に併せて、用途地域の見直しに取り組みます。

④ 環境・景観に配慮し地域資源を活かしたまちづくり



- 新松田駅周辺地域には、川音川などの自然や町役場や町民文化センター、医療の広域拠点である県立足柄上病院などの公共施設、町民サービス施設だけでなく、特徴的な店舗や歴史的資源などが存在しています。
- そのため、酒匂川、川音川などの潤いある自然環境や富士山の眺望、町役場をはじめとする各種行政サービス施設、また歴史的な街道である「矢倉沢往還（※）」や、この街道の沿道周辺にある歴史ある神社や酒蔵など、地域の豊かな自然環境、景観及び資源を活かし、街並みを楽しんで回遊できるまちづくりを進めます。

⑤ ITの高度化に対応した施策の展開



- 近年のITの高度化は、通信分野だけでなく、経済、流通をはじめとした幅広い分野に活用の幅が広がっています。
- そのため、既存のまちの情報を整備するとともに、IoT（※）を活用した街なかにおける受発信システムを導入し、まちへの来訪者にとって利便性の高いまちづくりを進めます。

(5) 実現施策

- ・新松田駅周辺地域における基本構想の考えに基づき、5つのまちづくり基本方針を実現する施策を次のとおり整理します。

① 「安全・安心なまちの形成」

実現に向けた施策
1) 地区特性に即した土地利用誘導の適正化
2) まちなかでの安全性の確保
3) ユニバーサルデザインに配慮した空間形成・発信情報の整備

② 「交流・活力を促進する交通拠点の形成」

実現に向けた施策
1) 新松田駅 駅前広場、駅舎の整備
2) 新松田駅 駅前広場へのアクセス道路の整備
3) 交通のシームレス化

③ 「魅力・賑わいの創出」

実現に向けた施策
1) 駅周辺へのサービス機能の導入
2) 駅前広場整備に合わせた集約施設の整備
3) 空家・低未利用地の管理・活用

④ 「環境・景観・地域資源を活かしたまちづくり」

実現に向けた施策
1) 地域資源を活かしたまちづくり
2) 自然環境・景観に配慮したまちづくり
3) 回遊路の形成

⑤ 「ITの高度化に対応した施策の展開」

実現に向けた施策
1) 発信情報の整備
2) 観光等情報の受発信システムの構築

(6) 施策展開の基本方針

- ・新松田駅周辺地域は、町や足柄上地区の玄関口となる交通結節拠点であるとともに、地域住民や来訪者の活動を支える中心拠点です。
- ・人口減少、高齢化社会を向かえ、本地域がこれらの役割を担い機能していくためには、地域課題に対応する上記5つの施策を行うことが必要不可欠です。
- ・また、これらの施策は、将来にわたって足柄上地域を維持・存続していくための基盤となるものでありかつ公共性が高いものであり、町により施策展開を図るべきものです。

(7) 新松田駅周辺地域基本構想図

